

# 長谷川 均 先生の略歴と研究業績

## 長谷川 均 先生の略歴

### 出身地

1953 (昭和28) 年 4 月 28 日 新潟県加茂市に生まれる。

### 学歴

1972 (昭和47) 年 新潟県立三条高校普通科卒業

1977 (昭和52) 年 法政大学文学部地理学科卒業

1980 (昭和55) 年 法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻修士課程修了

1985 (昭和60) 年 法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻博士課程を単位取得のうえ退学

### 学位

2007 (平成17) 年 3 月 6 日 博士 (理学) 東京都立大学 理博第1247号

### 職歴

1988 (昭和63) 年 4 月 国土館大学文学部史学地理学科地理学専攻専任講師

1994 (平成6) 年 4 月 国土館大学文学部史学地理学科地理学専攻助教授

2000 (平成12) 年 4 月 国土館大学文学部史学地理学科 地理学専攻教授 (現在に至る)

2000 (平成12) 年 9 月 国土館大学大学院人文科学研究科 (現在に至る)

この間、法政大学第一教養部、同経済学部、和光大学、駒澤大学、三重大学、琉球大学、日本大学、日本大学大学院、成城大学などで非常勤教員を勤めた。

### 役職

2016 (平成28) 年 4 月 国土館大学文学部長 (2018年 3 月まで)

2019 (平成31) 年 4 月 国土館大学副学長 (現在に至る)

2020 (令和2) 年 6 月 学校法人国土館評議員 (現在に至る)

2021 (令和3) 年 4 月 学校法人国土館理事 (現在に至る)

### 学会等、役員歴

1988 (昭和63) 年 4 月 (財) 日本自然保護協会「サンゴ礁保護検討小委員会」委員

1993 (平成5) 年 10 月 (財) 海中公園センター「高知県手続サンゴ調査委員会」委員 (1994年 3 月まで)

1994 (平成6) 年 1 月 通産省宇宙開発事業団「地球科学技術研究のための基礎的データセット作成研究」委員 (1998年 3 月まで)

1993 (平成5) 年 日本地理学会「選挙管理委員会」委員

1996 (平成8) 年 日本地理学会「集会委員会」委員 (2000年まで)

1997 (平成9) 年 日本サンゴ礁学会「監査」(1998年まで)

1998 (平成10) 年 日本サンゴ礁学会「評議員」(2003年まで)

|                   |  |
|-------------------|--|
| 1998 (平成10) 年 9 月 | リーフチェック98 (チームサイエンティスト (講師)) 環境庁自然保護局        |
| 1999 (平成11) 年 9 月 | リーフチェック99 (チームサイエンティスト (講師)) 環境庁自然保護局        |
| 2002 (平成14) 年     | 日本地理学会「国際交流 (渉外) 専門委員会」委員 (2004年まで)          |
| 2003 (平成15) 年     | 日本リモートセンシング学会企画委員 (2006年まで)                  |
| 2003 (平成15) 年     | 地学雑誌編集委員 (2008年まで)                           |
| 2003 (平成15) 年 7 月 | (財) 日本自然保護協会「泡瀬干潟自然環境調査委員会」委員 (2004年 3 月まで)  |
| 2004 (平成16) 年     | 日本地理学会「地理情報システム技術資格推進委員会」委員                  |
| 2005 (平成17) 年     | 日本サンゴ礁学会評議員 (2009年まで)                        |
| 2005 (平成17) 年     | ヨルダン国イラク向け第三国研修「博物館・遺跡管理」運営指導調査専門家           |
| 2006 (平成18) 年 4 月 | (財) 大学基準協会評価委員 (2009年 3 月まで)                 |
| 2006 (平成18) 年 4 月 | 日本地理学会「企画専門委員会」委員 (2010年 3 月まで)              |
| 2008 (平成20) 年     | 地球環境科学系専門評価分科会委員                             |
| 2010 (平成22) 年 4 月 | 日本地理学会代議員 (2012年 6 月まで)                      |
| 2010 (平成22) 年 4 月 | 日本地理学会「資格専門委員会」委員 (2012年 6 月まで)              |
| 2014 (平成26) 年 6 月 | 日本地理学会理事, 資格専門委員会委員長 (2018年 6 月まで)           |
| 2014 (平成26) 年 6 月 | 千葉大学環境リモートセンシング研究センター拠点運営委員会委員 (2018年 5 月まで) |
| 2015 (平成27) 年     | 日本地図学会評議員 (現在に至る)                            |
| 2015 (平成27) 年     | 千葉大学環境リモートセンシング研究センター人事委員                    |
| 2016 (平成28) 年     | 日本地理学会代議員 (2017年 6 月まで)                      |
| 2020 (令和 2) 年     | 日本地理学会代議員 (現在に至る)                            |
| 2021 (令和 3) 年     | 日本地理学会地域調査士資格認定委員 (現在に至る)                    |
| 2022 (令和 4) 年     | (公財) 東京地学協会アドバイザー (現在に至る)                    |

## 受賞歴等

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 平成24年                 | 日本リモートセンシング学会 論文賞   |
| 平成29年                 | 沖縄地理学会論文賞 (共同受賞)  |
| 平成27年, 令和 4 年, 令和 5 年 | 国土館大学学術奨励賞  |
| 令和 5 年                | GIS Expert Emeritus (GIS 名誉上級技術者) 称号認定 地理情報システム学会 GIS資格認定協会 |

## 研究補助費の獲得 (研究代表者)

1. 平成6年度私立大学研究設備整備：リモートセンシング画像処理システム
2. 「サンゴ礁環境衛星地図」の作成 文部省科学研究費 基盤 (C)
3. 平成8年度私立大学など経常費補助金特別補助 情報化推進特別経費：教育研究用ソフトウェア
4. 2001 (平成13) 年度WWFジャパン自然保護助成事業 陸域からの排水がサンゴ礁生態系に与える影響
5. 平成14 (2002) 年度私立大学研究設備整備：野外観測用可視・近赤外分光装置
6. 2002 (平成14) 年度WWFジャパン自然保護助成事業 陸域からの排水がサンゴ礁生態系に与える

## 影響

7. 琉球諸島における大正期以降の土地利用変化 GISを使った復元と解析 平成14年度、財団法人国土地理協会研究助成金
8. 2003（平成15）年度WWFジャパン自然保護助成事業石垣島轟川流域における農業的土地利用の季節変化と赤土流出との関連
9. 2004（平成16）年度 文科省 教育研究装置・研究設備「デジタル3次元計測システム」
10. 平成23年度（2011年度）私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）高解像度空中写真撮影装置
11. 2012年 歴史的空中写真の保存修復とヨルダン・ハシュミテ王国の景観・地形の復元、国土地理協会
12. 科学研究費基盤研究C 2015年 「海草藻場の拡大がもたらすサンゴ礁環境の変化に関する研究」
13. 学術研究振興資金 2015,2016年 「ヨルダンの地域構造に関する地理学的研究」
14. 2021年 JFE21世紀財団 アジア歴史研究助成 平和の回廊ヨルダン渓谷の景観変化と開発史・地域構造に関する研究
15. 科学研究費基盤研究C 2022年 多チャンネルUAV画像による生サンゴの抽出と底質区分に関する実証的研究.

## 長谷川 均 先生の研究業績

### 著書、共著書

- 1984年 長谷川 均「久米島の風と農業気象災害について」法政大学百周年記念久米島調査委員会編『沖縄久米島の総合的研究』17-30, 弘文堂.
- 1990年 長谷川 均「サンゴ礁の白い島 サンゴ洲島とその地形変化」日本のサンゴ礁地域1 サンゴ礁地域研究グループ編『熱い自然』, 118-136, 古今書院.
- 1994年 サンゴ礁地域研究グループ編『熱い心の島』 日本のサンゴ礁地域2. 古今書院.
- 1994年 長谷川 均「リモートセンシングデータの解析」, 「粒度分析」正井泰夫・小池一之編『卒業論文作成マニュアル』 古今書院.
- 1998年 長谷川 均『リモートセンシングデータ解析の基礎 The ABCs OF RS』 古今書院, 138p.
- 2008年 金東熙ほか訳(韓国語訳)『リモートセンシングデータ解析の基礎 The ABCs OF RS』 228p. ISBN 89-90016-53-3

### その他の寄稿書

- 1995年 長谷川 均「サンゴ礁は変化する」世界自然保護基金日本委員会『白保のサンゴ礁』WWFネイチャーシリーズ②, 26-27, (財)世界自然保護基金日本委員会.
- 1995年 長谷川 均「サンゴ図解」宇検村振興育英財団『なぎ物語 焼内湾・奄美大島』108-115, (財)宇検村振興育英財団.
- 1996年 長谷川 均「白保の現世のサンゴ礁」日本第四紀学会編『第四紀露頭集』321, 日本第四紀学会.
- 1996年 長谷川 均「リモートセンシングでみたサンゴ礁」中村和郎ほか編『南の島々』180-181, 岩波書店.
- 2000年 長谷川 均「白保サンゴ礁」, 「サンゴの白化現象」沖縄を知る事典編集委員会編『沖縄を知る事典』316-317, 日外アソシエーツ.
- 2004年 Hasegawa, H. and Yamano, H. [Ishigaki Island] *Ministry of the Environment, Jaoanese Coral Reef Society ed.* 『Coral Reefs of Japan』212-218, Ministry of the Environment, Jaoanese Coral Reef Society.
- 2004年 長谷川 均・山野博哉「石垣島」環境省・日本サンゴ礁学会編『日本のサンゴ礁』220-226, 環境省, 日本サンゴ礁学会.
- 2005年 長谷川 均「土地利用の変遷」泡瀬干潟自然環境調査委員会編『うまんちゅぬ宝 泡瀬干潟の自然ガイドブック』4-5, 日本自然保護協会.
- 2007年 長谷川 均「海岸・サンゴ礁の解析」長澤・原・金子編『自然環境解析のためのリモートセンシング・GISハンドブック』208-217, 古今書院.
- 2013年 長谷川 均「関東地方の山地と丘陵そして平野」13-20, 「フィールドノートの活用法」92-98, 国土館大学地理学教室編『地理学野外調査入門』131p.
- 2013年 長谷川 均「漫湖」577, 「ザルカ川」673, 「ヨルダン川」673. 高橋裕ほか編『全世界の河川事典』, 丸善出版, 1013p.

2013年 長谷川 均 「GIS教育」人文地理学会編『人文地理学事典』638-639, 丸善出版, 761p.

## 論文

- 1982年 長谷川 均 「石狩平野における砂質堆積物の堆積環境」地理学評論, **55**, 77-82.
- 1982年 長谷川 均 「偏形樹を指標とした久米島の卓越風」東北地理, **34**, 166.
- 1982年 長谷川 均 「粒度組成による堆積物の堆積環境区分 (2次元判別図式パターン法の応用)」『環境科学の諸断面』(三井嘉都夫教授還暦記念論文集) 土木工学社, 153-158.
- 1984年 長谷川 均 「琉球列島久米島における裾礁および・礁の海岸堆積物」地理学評論, **57**, 571-582.
- 1984年 田淵 洋・長谷川 均・原 芳生 「北海道太平洋岸における2種類のice-footについて」東北地理, **36**, 161.
- 1985年 長谷川 均 「中国東北地方ホルチン沙地の風成地形について」『叔軒 李延・博士回甲記念論文集 地理学・理論・応用』1023-1034.
- 1987年 長谷川 均・田淵 洋・安達 寛・牧野勇治 「オホーツク海沿岸、浜小清水におけるIce foot形成期の海浜堆積物とNiveo-aeolian Depositsについて」法政大学多摩研究報告, **2**, 13-25.
- 1987年 東郷正美・長谷川 均・深沢 浩・野辺大児・大杉芳明・長房利哉 「中綱湖の湖盆図」法政地理, **15**, 83-87.
- 1987年 Noguchi, Y., Tabuchi, H. and Hasegawa, H. 「Physical Factors Controlling the Formation of Patterned Ground on Haleakala, Maui」Geografiska Annaler, **69A**, 329-342.
- 1987年 Yamanouchi, H. and Hasegawa, H. 「The Distribution of Sandy Sediments on the Coral Reef and Beach at Northeastern Coast of Ikei-jima, Okinawa」Science Reports of the Faculty of Education, Gunma University, **36**, 19-37.
- 1989年 山内秀夫・長谷川 均・長沢良太 「石垣島吉原のサンゴ礁海岸における砂質堆積物分布について」沖縄地理, **2**, 1-12.
- 1989年 渡久地 健・長谷川 均 「父島にみる北限のサンゴ礁」地理, **34-11**, 38-46. 表紙写真・口絵写真.
- 1989年 長谷川 均 「琉球列島久米島でみられるサンゴ洲島の海岸線変化」地理学評論, **63**, 676-692.
- 1990年 長谷川 均 「サンゴ礁地形判読のためのLANDSAT カラー合成画像の検討」国士舘大学文学部人文学会紀要, **23**, 119-136.
- 1990年 目崎茂和・前門 晃・長谷川 均・中森 亨 「サンゴ礁環境のデータベース化と時空間分析」近代化による環境変化の地理情報システム. 平成2年度総合報告書(I).
- 1991年 長谷川 均 「石垣島サンゴ礁環境調査地点の地形と底質」世界自然保護基金日本委員会『石垣島のサンゴ礁環境』21-56, WWF JAPAN.
- 1991年 目崎 茂和・前門 晃・長谷川 均・中森 亨 「サンゴ礁環境のデータベース化と時空間分析」近代化による環境変化の地理情報システム. 平成3年度総合報告書(I).
- 1992年 長谷川 均 「リモートセンシングを使ったサンゴ礁環境調査」日本リモートセンシング学会第12回学術講演会論文集, 69-72.

- 1993年 市川清士・高橋由香・長谷川 均「石垣島・カラ岳東海岸のサンゴ礁地形と底質」世界自然保護基金日本委員会『石垣島のサンゴ礁環境』269-291, WWF. JAPAN.
- 1992年 目崎 茂和・前門 晃・長谷川 均・中森 亨「サンゴ礁環境のデータベース化と時空間分析(Ⅲ)」近代化による環境変化の地理情報システム. 平成4年度総合報告書(Ⅰ).
- 1994年 長谷川 均「大手の浜の浅海底地形と堆積物について. 『手結サンゴ調査報告書』1-28, 財団法人海中公園センター.
- 1994年 目崎茂和・長谷川 均・中森 亨・前門 晃・モイヤー J.・渡久山 章「石垣島サンゴ礁の保全管理研究」プロ・ナトゥーラ・ファンド第1期・第2期助成成果報告書. 18-26, (財)日本自然保護協会.
- 1995年 山内秀夫・長谷川 均・目崎茂和・前門 晃「サンゴ礁干潟の環境変化と保全」プロ・ナトゥーラ・ファンド第3期助成研究成果報告書. 8-17頁, (財)日本自然保護協会.
- 1995年 長谷川 均「八重山の海は今 新しいくらしと環境保全」地理, 40-9, 40-46.
- 1995年 長谷川 均「分光反射測定 of サンゴ礁環境調査への応用」国土館大学人文学会紀要, 28, 64-82.
- 1995年 山内秀夫・長谷川 均・目崎茂和・前門 晃・藤本 潔「サンゴ礁干潟の環境変化と保全(Ⅱ)」プロ・ナトゥーラ・ファンド第4期助成研究成果報告書. 79-93, (財)日本自然保護協会.
- 1995年 長谷川 均「文学部地理学専攻学生に対するリモートセンシング教育」国土館大学情報科学センター紀要, 17, 36-49.
- 1996年 長谷川 均・(株) 沢瀉電子「文学部地理学専攻学生に対するリモートセンシング教育と解析ソフトウェアの開発」日本リモートセンシング学会第20回学術講演会論文集, 103-106.
- 1996年 長谷川 均「サンゴ礁環境衛星地図の作成」平成9年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 39p.
- 1998年 目崎茂和・長谷川均ほか: 第二回 白保サンゴ礁モニタリング調査報告書. 石垣市, WWF Japan, 19p.
- 1998年 長谷川 均「リモートセンシングをどう使うか」社会科教育, 466, 35-37.
- 1999年 長谷川 均・長谷川明雄「琉球列島石垣島白保サンゴ礁でみられるマイクロアトールの特徴」国土館大学地理学報告, 7, 1-24.
- 1999年 長谷川 均・市川清士・小林 都・小林 孝・星野 眞・目崎茂和「石垣島における1998年のサンゴ礁の広範な白化」日本サンゴ礁学会誌, 1, 31-39.
- 1999年 長谷川 均「衛星画像からみた中国ホルチン沙地の風成地形」国土館大学文学部紀要, 32, 69-85.
- 2001年 長谷川 均「新石垣空港に関する問題点」環境と公害, 31, 63-64, 岩波書店.
- 2002年 長谷川 均「陸域の開発とサンゴ礁浅海域の変化 琉球列島石垣島白保サンゴ礁を例に」科研報告書『完新世後期における海岸域の地形環境動態に関する研究』16p.
- 2002年 長谷川 均ほか4名『陸域からの排水がサンゴ礁生態系にあたる影響』2001年度 WWF 自然保護助成事業報告書(事業番号20116), 50p.
- 2003年 長谷川 均「国土館大学地理学教室におけるGIS教育について」国土館大学文学部紀要, 35, 61-88.

- 2003年 長谷川 均・鈴木倫太郎・目崎茂和・目崎拓真・木下奏緑・安村茂樹・小林 孝『陸域からの排水がサンゴ礁生態系にあたる影響（最終報告書）』2002年度 WWF自然保護助成事業報告書（事業番号20116），25p.
- 2004年 長谷川 均「サンゴ礁は生き残れるか」GYROS, 5, 42-55.
- 2006年 長谷川 均・鈴木倫太郎・後藤智哉・安村茂樹・前川 聡『石垣島轟川流域における土地利用の季節変化と赤土流出』2004年度WWFジャパン自然保護助成金報告書，20p.
- 2007年 長谷川 均・後藤智哉・藤田泰文「国士舘大学地理学教室におけるリモートセンシング教育について－その2－」国士舘大学人文学会紀要, 39, 1-17.
- 2007年 Hasegawa, H. 「The decline of coral reef conditions caused by extensive land modification: a case study of the Shiraho area on Ishigaki Island, Okinawa, Japan（邦題）開発行為に伴うサンゴ礁浅海域の変化 沖縄県石垣島白保サンゴ礁を例に」東京都立大学大学院理学研究科博士学位請求論文, 92p.
- 2007年 後藤智哉・長谷川均「ソビエト軍製地形図を利用したテルの分布調査－シリア・ユーフラテス河中流域を対象として－」文部科学省科学研究費補助金特定領域研究『セム系部族社会の形成』Newsletter, 8-11, 16-19.
- 2007年 Matsumoto, K. Hasegawa, H., Ushiki, H. and Goto, T. 「The Making of the Base Maps of the Ancient Sites in the Mesopotamian Region based on ALOS Data」*Proceedings of The First Joint PI Symposium of ALOS Data Noders for ALOS Science Program in Kyoto.*  
[http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/conf/Proc\\_PISymp2007/contents/geology.html](http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/conf/Proc_PISymp2007/contents/geology.html)
- 2008年 村山祐司・若林芳樹・小口 高・長谷川 均・田村俊和「特集号「GIS」」, 地学雑誌, 117, 307-311.
- 2008年 長谷川 均・後藤智哉「泡瀬干潟と周辺の景観変化－地形図、空中写真、衛星画像からみた環境変遷－」『埋立事業があわせ干潟に与える影響と保全の提言』—泡瀬干潟自然環境調査報告書一、日本自然保護協会報告書, 65, 13-26.
- 2008年 東郷正美・長谷川 均・後藤智哉「死海地溝帯東縁の地質構造」法政大学多摩研究報告, 23, 1-2.
- 2008年 Matsumoto, K. Hasegawa, H., Ushiki, H. and Goto, T. 「Investigation on the Ancient Site Location in the Mesopotamian Region Based on ALOS Data」*Proceedings of The Second Joint PI Symposium of ALOS Data Noders for ALOS Science Program in island of Rhodes, held on the island of Rhodes, Greece.*
- 2008年 後藤智哉・長谷川 均・松本 健「CORONA・LANDSAT・ALOSデータを用いた時系列地図の整備—ガーネム・アリ遺跡周辺の過去39年間の土地被覆変化と河道変遷を例として—」文部科学省科学研究費補助金報告書『セム系部族社会の形成』文部科学省科学研究費補助金特定領域研究Newsletter, 12, 7-10.
- 2009年 藤田泰文・長谷川 均・後藤智哉「光源と測定環境が樹木単葉の分光反射特性に与える影響」国士舘大学地理学報告, 17, 1-8.
- 2009年 長谷川 均「ヨルダン渓谷北部ウム・カイス遺跡周辺の自然環境」文化遺産学研究, 1, 7-18.
- 2009年 長谷川 均「イラク人研修生への文化遺産学教育 地理班の研修(1)」文化遺産学研究, 2, 293-299.

- 2009年 長谷川 均・後藤智哉・鈴木敬子「[「辺野古・大浦湾サンゴ礁マップ」のためのベースマップ] 地図中心, **442**, 12-15.
- 2009年 東郷正美・長谷川 均・後藤智哉「最終氷期の死海“Lake Lisa”」法政大学多摩研究報告, **24**, 1-2.
- 2010年 東郷正美・長谷川 均・後藤智哉「死海トランスフォーム断層によって変位した考古遺跡“QasrTilah”の年代」法政大学多摩研究報告, **25**, 1-4.
- 2011年 長谷川 均「陸域の開発行為に伴うサンゴ礁環境の悪化—石垣島白保サンゴ礁を例に一」日本リモートセンシング学会誌, **31**, 73-86.
- 2011年 鈴木倫太郎・長谷川 均・前川 聡・佐川鉄平・柴田 剛・市川清士・後藤慶之「石垣島白保サンゴ礁におけるアオサンゴ群集の分布と形成過程に関する考察」駒沢地理, **47**, 49-56.
- 2011年 鈴木倫太郎・前川 聡・佐川鉄平・柴田 剛・市川清士・後藤慶之・長谷川 均「石垣島白保サンゴ礁における白化現象の分布と水温の関係」地域学研究, **24**, 27-40.
- 2011年 東郷正美・長谷川 均・石山達也・岡田真介・竹内えり・牛木久雄「ヨルダン・ハラット」法政大学多摩研究報告, **26**, i ~ iv.
- 2011年 (社)日本地理学会 企画専門委員会「実務地理関係者の活動実態とその社会貢献のあり方に関する調査研究」E-journal GEO, **6**, 38-71.
- 2011年 岡本耕平・海津正倫・小田宏信・高橋眞一・戸所 隆・山下博樹・友澤和夫・高橋春成・長谷川 均・石丸哲史・富樫幸一・高橋重雄・志村 喬「大学地理教育における標準カリキュラムと学士力—現状とあるべき姿—」E-journal GEO, **6**, 203-211.
- 2012年 鈴木倫太郎・長谷川 均・前川 聡・柴田 剛・佐川鉄平・後藤慶之・市川 清「サンゴ礁浅海域における保全を目的とした地図の作製」地図, **50**, 1-16.
- 2012年 東郷正美・長谷川 均・後藤智哉・牛木久雄「カラク高原の地形と火山」法政大学多摩研究報告, **27**, i ~ ii.
- 2013年 長谷川 均・岡田真介・石山達也・後藤智哉・東郷正美「歴史的空中写真の保存修復とヨルダン・ハシュミテ王国の景観・地形の復元」, 国土地理協会平成24年度研究助成金報告書, 27p.
- 2013年 長谷川 均「松川浦と周辺地域の変化」WWF ジャパン編『WWF ジャパン暮らしと自然の復興プロジェクト実施報告書』60-67, WWF ジャパン, 104p.
- 2014年 長谷川 均「UAV (自律型飛行体) を使った高解像空中写真の撮影と活用—サンゴ礁浅海域での事例」国土館大学地理学報告, **22**, 13-21.
- 2014年 Ishihara, M., Hasegawa, H., Hayashi, S., and Yamano, H. 「Land cover classification using multi-temporal satellite images in a sub tropical area. The biodiversity observation network in the Asia-Pacific region 『*Integrative observations and assessments of Asian biodiversity*』 231-237, Springer.
- 2014年 長谷川 均・後藤智哉・東郷正美・Mahmoud A. Q.・牛木久雄・竹内えり「ヨルダンを撮影した1950年代初頭の空中写真—その概要と保存修復」文化遺産学研究, **7**, 131-141.
- 2014年 東郷正美・長谷川 均・石山達也「ジェリコ断層に関する覚書」法政大学多摩研究報告, **29**, 51-62.
- 2014年 Yamazaki, A., Watanabe, T., Tsunogai, U., Hasegawa, H., and Yamano, H. 「The coral  $\delta$  15N record of terrestrial nitrate loading varies with river catchment land use」Coral Reef, DOI 10.1007/s00338-014-1235-1, Online First (Springer) *Coral Reefs*, **34**, 353-362.



- 2015年 東郷正美・長谷川 均・石山達也「ヨルダン砂漠で見いだされるQa'aと疑似氷河地形」法政大学多摩研究報告, **30**, 1-2.
- 2015年 東郷正美・長谷川 均「2014年11月長野県北部地震 (M.6.7) に伴われた地表断層変位の特性について」法政大学多摩研究報告, **30**, 1-10.
- 2015年 長谷川 均「ヨルダン渓谷と周辺自然环境」地図中心, **518**, 6-9.
- 2015年 長谷川 均「ヨルダン渓谷を撮影した1950年代初期の空中写真」地図中心, **518**, 24-27.
- 2016年 東郷正美・長谷川 均・後藤智哉・石山達也・今泉俊文・松本 健「デカポリス”ガダラ”は、本当に749年パレスティナ大地震で壊滅したか」文化遺産学研究, **9**, 39-50.
- 2016年 長谷川 均「米占領下の石垣島におけるヘレン・フォスターの地質調査 フィールド・アシスタント山里節子さんに聞く」地理, **61-5**, 52-59, 口絵1-9.
- 2016年 渡久地 健・藤田嘉久・中井達郎・長谷川 均・高橋そよ「礁前面の凹地「カマタ」の漁場としての生物地形学的評価」沖縄地理, **16**, 1-18.
- 2016年 眞部広紀・前田貴信・長嶋 豊・浦田健作・染谷 孝・久間英樹・新部一太郎・長谷川均・岡本 渉・春山純一「ロボット探査の予備実験に関する天窓・溶岩チューブ洞窟の類似地形について」佐世保高専研究紀要, **53**, 14-27.
- 2016年 東郷正美・長谷川 均・石山達也・後藤智哉・牛木久雄・Mahmoud A. Q.「ヨルダン・ヴァレー断層帯の最新変位痕跡」法政大学多摩研究報告, **31**, 1-10.
- 2017年 長谷川 均「渡久地健著 サンゴ礁の人文地理学 奄美・沖縄 生きられる海と描かれた自然」地理学評論, **90**, 631-633.
- 2018年 長谷川 均・鈴木厚志「日本地理学会におけるアウトリーチ ―資格認定事業を中心に― E-journal GEO, **13**, 164-169.
- 2019年 長谷川 均「地理学の視点から見たサンゴ礁海岸の開発と保全」地理, **64-2**, 32-39.
- 2020年 長谷川 均「ヨルダンを撮影した歴史的空中写真の検索・表示・カラー化システムの構築とそれを活用した国土館ヨルダンプロジェクト」国土館大学地理学報告, **28**, 1-14.
- 2021年 長谷川 均「オンライン授業 環境の整備とゼミ・実習科目の工夫」地理, **66-3**, 21-27.
- 2021年 長谷川 均「ヨルダン：大地溝と高地、砂漠の大地」科学, **2021-10**, 967-970.
- 2022年 長谷川 均・中野義勝「沖縄島周辺における軽石の漂着とサンゴ礁生物」地理, **66-7**, 44-49, 表紙・口絵, 2-3.
- 2023年 長谷川 均「ヨルダン 熱く多様な自然」地理, **67-2**, 14-24, 表紙・口絵, 1-2.
- 2023年 長谷川 均・中井達郎「UAVマルチ画像によるサンゴ礁浅海域のモニタリングと生きた造礁サンゴの抽出」国土館大学地理学報告, **31**, 13-20.
- 2023年 佐々木明彦・東郷正美・長谷川 均・牛木久雄「ヨルダン高地東部のBadiaにみられるQa'aの地形的特徴」国土館大学地理学報告, **31**, 1-11.
- 2023年 長谷川 均「沖縄を研究すること, 沖縄で研究すること」法政地理, **55**, 65-68.
- 2024年 長谷川 均「日本最西端・与那国島のサンゴ礁段丘」地図中心, **2024-1**, 34.
- 2024年 加藤幸治・長谷川 均・小原丈明「アンマン-ザルカ地方における市街地拡大と都市内部における密集化」国土館大学地理学報告, **32**, 11-26.
- 2024年 佐々木明彦・長谷川 均・牛木久雄「ヨルダン・ジャラシュにおける地すべり地形の分布」国土館大学地理学報告, **32**, 27-36.

## その他

学会発表・講演142件， 依頼原稿・書評など67件， テレビ・雑誌等取材対応および出演74件